

市民参加でまちを変えよう！

vol.1
2024
春号

明日の向日 ニュースレター



杉谷伸夫

大阪生まれ、上植野町在住
京都大学工学部卒業
GSコアサ勤務を経て
2011年より向日市議会議員
4期目、69歳

林リ工

向日市育ち、寺戸町在住
ミンナソラノシタ代表
FMおとくにパーソナリティ
向日市議会議員1期目
3人の子の母、45歳

あすむこう

はじめまして、「明日の向日」です！

2023年8月に新しい会派「明日の向日」を結成して約半年
皆さんに「明日の向日」について知っていただけると幸いです！

1. 議会改革をめざして会派を結成

それ以外のことに 대해서는 個人の意思を尊重する。

(杉谷)

これまで向日市議会には、「市民とともに」を基本姿勢とし、政党に所属していない議員はいなかったため、会派を組む相手がいませんでした。林リエさんが「完全無所属」で当選、議員になられたので、会派を組むならこの人しかいないと思っていました。

向日市議会の運営は「会派主義」で、2人以上で会派となります。一人で活動するより会派を作った方が効果的な活動ができます。林リエ議員は、「市民とともに」の基本姿勢が明確だったので、意見が違ってくることも出てきても、真摯に話し合っていけると考えました。また最も一致したのが「市民とともに歩む議会への改革」

の思いです。それを実現していくことを目的とした会派を作ろう！ということで考えが一致しました。「明日の向日」の名前は、林議員の発案です。

(林)

完全無所属を貫くことを決断した私は、先ずは一人会派と思っていたのですが、会派を組まないで、自分が関わりたい委員会や職務担当に就けないかもしれないことを知りました。

無所属であり、これまでのボランティア団体「ミンナソラノシタ」での活動を見守り、応援して下さっていたご縁もあり、杉谷さんと会派を組ませていただきたいと思いました。

2. これまでの議会報告

向日市議会議員にしかできない仕事は2つです。一つは、向日市民が収めた税金の使い道や優先順位を決めること。もう一つは、向日市のルール(条例)を決めることです。

向日市民の支持を得て初当選した林リエ議員と当選回数4回の杉谷伸夫議員は、どこの政党にも属さず、「議会改革」を旗印に、新会派「明日の向日」を立ち上げました。

「明日の向日」が、これまでの議会にどう臨んだかを報告いたします。

●2023年8月臨時議会●

選挙後最初の仕事は、議会の役職と所属の決定のための臨時議会です。

①向日市議会議員選挙は同票数で抽選決着

議会三役(正副議長・監査)はこれまで各会派間の話し合いで決まっていたのですが、今回は話し合いがつかず選挙となりました。2人の候補を推薦する議員が8名ずつとなり、「明日の向日(2議席)」の動向に注目が集まりました。同じ会派の議員で意見が分かれることはこれまでなかったため、明日の向日の2議席がどちらの候補を推すかで決まると思われたからです。

「明日の向日」としても議論しましたが、会派として相応しい議長を選ぶことができず、別々の候補を選ぶことにしました。その結果、両候補ともに9名の議員が推薦することになり、向日市議会初の抽選による決定で上田雅氏が議長に選出されました。

1年半後の2025年8月に行われる次期「議長」選出時には、会派「明日の向日」の議会改革の理念に添う議長を揃って選びたいと思います。

②議会内の役職・所属

- 〈杉谷伸夫〉議会活性化特別委員長、建設環境常任委員会、議会運営委員、
乙訓環境衛生議会議員
〈林リエ〉議会だより編集委員長、
厚生常任委員会

●2023年9月議会●

前年度(2022年4月～2023年3月)の向日市の決算の認定が最大の仕事です。新人の林議員にとっては、議員になる前の向日市の仕事について、いきなりチェックと評価を求められるのは大変でした。一方4期目の杉谷議員は、これまでこだわってきた子育て支援や市民生活支援の充実のための施策が反映されなかった点から、決算の認定に反対しました。

●2023年10月●

「明日の向日」の5つの提案を「2024年度予算要望書」としてまとめ、市長に提出しました。

- ・福祉なんでも相談事業の実施
- ・少量使用者に不利な水道料金・下水道料金の是正
- ・気候危機の現状を可視化するクライメートクロックの設置
- ・競輪場の再開発について、市民が集える場所の確保
- ・コンポストを用いた循環サークル構想



●2023年12月議会●

―向日市森本町の一部が「向日市ニデックパーク」に決定―

未だに向日市森本町（大字名）の一部が、向日市ニデックパーク（大字名）に変更されたことをご存じない方が「向日市に新しい公園でもできたのかしら」等と話されています。

日本電産株式会社は、昨年社名をニデック株式会社に変更し、向日市東部に購入した新拠点の名称を「ニデックパーク」と決めました。昨年10月、ニデックに土地を売却した地権者等から、その土地を「向日市ニデックパーク」という町名にしてほしいという要望書が市長宛に出され、市長は議会に地名変更の条例案を提出しました。「明日の向日」は林議員が「多くの市民がご存じではなく、検討不十分」と反対しましたが、賛成多数で可決され、「向日市ニデックパーク」という新しい町名が誕生しました。多くの市民がご存じでないまま議会で決めてしまったという点で、大きな課題があったと考えます。

YouTubeで市議会が視聴できます。
林議員の反対討論は1:00:10からです。



●2024年3月議会●

―「2024年度予算審議」―

向日市長は、向日市の収入を見積もり、それをどのように使っていくかの予算案を考え、行政（向日市）職員を率いてそれを実行するのが主な仕事です。一方、向日市長提案の予算案が、本当に向日市民の暮らしにとって有益なものかどうかを話し合い、執行に移していかどうかを決めるのは議会です。選挙権を持つ向日市民には、行政のリーダーである市長と、議会のメンバーである議員の両方を選挙で選ぶ権利があります。

3月議会は、この「2024年度予算案」を審査し、議決する大変重要な議会でした。予算の内容は多岐にわたるため、評価できるものも評価できないものもありますが、一括で賛否をとるため「明日の向日」の二人は賛成しました。



林議員の一般質問は
48:20からです



杉谷議員の一般質問は
1:01:50からです

新年度の向日市の最大の事業は、本格的な工事が進むJR向日町駅の自由通路の整備です。タワーマンションについては、大きな問題があると考えていますが、自由通路の整備は市民が期待しています。

その他、以下の予算について特に期待します。

- 積極的なゼロカーボンの推進。家庭用省エネエアコン買い換え補助の新設
- 小中学校の体育館のすべてにエアコンの設置。災害時に主な避難所となります。
- 公立保育所での温かいごはんの提供を開始。公立保育所の施設整備。夏の暑さ対策の検討を！
- 市のホームページのリニューアルに期待。市民の意見の反映を！

一方、保育所待機児童は増え、留守家庭児童会の入所希望も激増しています。子育て支援の更なる強化が必要です。また国民健康保険料は平均13%もの値上げは問題です。支援策が必要です。

その他、向日町競輪場へのアリーナ整備は、交通渋滞など周辺環境整備が大前提です。まずは市民への説明が必要です。

また、市民にとって知の拠点である図書館は大きな役割を担うものであり、全市民が利用しやすいサービスが大切です。多くの他市町で実施されている図書館以外の場所で本の貸し借りができるサービスポイント(貸出返却場所)の設置が必要です。図書館の本の所蔵は17万冊なのに比べ、電子図書館サービスであるデジタル図書の電子書籍は初年度1000冊です。デジタル図書で利用者の利便性をカバーすることと、サービスポイント導入は論点が違い過ぎると感じています。

<以下のことを一般質問で取り上げました>

- (杉谷)
- ①災害対策について、国際基準に基づく避難所の整備
 - ②旧上田家住宅の透明・公平な運用
 - ③「原則着衣」での学校健診の実施(林)
 - ④保育所入所における現状の課題解決と、入所決定時期の繰り上げを要請
 - ⑤市民の知る権利を守る、図書館利用の利便性を高めるために図書館以外の場所に貸出返却ボックスの設置

3. 議会改革をめざして会派を組まれたとのことですが、 議会改革がどこまで進みましたか？ 現状を教えてください。

(杉谷)

議会改革を検討する特別委員会の委員長になりました。まず全議員に改革テーマ案を出してもらったところ、18項目の提案がありました。これまでは3カ月毎に開かれる定例議会の度に1回、年に計4回しか特別委員会が開かれてなかったのですが、これでは検討が間に合いません。そこで検討のメドがつくまでは毎月1回開催することが決まりました。

議会の運営ルールを改革することは、多数決で決めず全議員の合意で進めることが大切です。いろんな意見のある18人の議員全員の合意をつくることは中々大変ですが、その中でも「特別委員会のインターネット生配信」は、実施の方向が決まり、また懸案だった「予算・決算特別委員会」を分科会方式で設置することも合意され、今後具体的なルールを作っていくことになっています。また、子どもたちに市議会を身近に感じてもらう取り組みについての議論も進みました。

明日の向日からは、その他に「市民と議員の意見交換会」などを提案していますが、他の会派から提出の多くの改革提案とともに、1つずつ合意を作って実現できるよう取り組みたいと思います。

(林)

私は「議会だより編集委員会」委員長になりました。議会だより編集委員会は、各会派から議員が一名出席しています。

2023年7月の向日市議会議員選挙の投票率は、2019年を2.39ポイント下回る38.52%となり、残念ながら過去最低となりました。これだけ政治離れが進んでいることに、民主主義の危機・まちの危機だと感じています。市民の税金で年に4回全戸配布できる「市議会だより」を充実し、市民が市政や市議会に関心を持ってもらうことがとても大切だと考えています。どうすればより良い紙面が作れるのか、「近畿市町村広報紙コンクール」で「市議会だより」が受賞されたという亀岡市に勉強に行ってきましたが、市民が紙面に登場したり、市民の関心ごとを深く掘り下げたりと、どうしたら読んでもらえるかを考えて、驚くほどの改革をしておられます。

より良い「市議会だより」とはどのようなものか、これはまさに市民の皆さんの意見を聞くことが大切だと思います。皆さんが楽しみにしてください「市議会だより」を目指して精進していきますので、興味をもって見守っていただくと幸いです。

やりたいことがいっぱいあって、突き進んでいくタイプ。「これは難しいな」と思うようなことでも、ひるまず実現にむけて周りを引き込んで行っちゃうところがすごい。それが最大の魅力かな。

お互いの印象は？

私は思ったとすぐに身体が動いてしまうのですが、飛び出す私を押しとどめるようなことはなさいません。常に人の気持ちを尊重される、私が目指す先革像を体現しておられます。

●連絡先●

杉谷伸夫

〒617-0006

向日市上植野町西小路3-4

TEL 090-8384-5984(携帯)

FAX 075-921-4101

メール peace@fa2.so-net.ne.jp

ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



林リエ

〒617-0002

向日市寺戸町七ノ坪141番地

SU・BA・CO 4F-d

メール riehayashi100@gmail.com

ホームページ <https://rie-japan.com/>

